

いの流水俳壇

「当季雑詠」

間 浩太選

一人抱き二人歩かせ天高し

岡本とも子

(評)秋空の高く澄み切った状況を「天高し」と言つており、秋空の簡潔な形容である。

この句は、若いお母さんと思われますが、小さい子ども一人は胸に抱き、年長の二人は歩かせて、草花が所々で咲き小鳥も遊んでいる、川の土手の道を、おしゃべりをしたり歌を歌つたりして、楽目に浮かびます。

子どもは一人か二人育てるのが多く、三人の子どもを持つのは少なくなりまして、人口減少が心配されていますが、この親子の将来に幸多かれと祈りたくなります。

小春日や母の優しさ感じをり

小野川町子

(評)十一月に雨風も少なく暖かい日和が続くときがあるが、そんな日を小春日、小春日和と言い、また小六月とも言つてゐる。

春に対して、小春すなわち小さい春というものは、初冬のころ春がまた遅つたような温暖の日々が続くので、こんな名が

付けられた。
小春の優しい暖かさ、寒くもなく暑くもない、暖かさに浸ると、母の優しかつた思い出、母と暮らした樂しかつた日々を思い、一段と母を感じたとの句は、小春日と母の取り合わせがよい句である。

忍び寄る限界集落神の留守

竹崎 光子

(評)近年、限界集落の言葉をよく聞くし、紙面でもよく見るようになつてきた。山峡の地区で、住民も減り商店も減少し、いろいろな施設もなくなり、もうこれ以上減少すると、地区としての機能ができなくなるところがでてくるのですが、それがこの句のように忍び寄つてくるので、峡では対策が必要となると思われます。この句の作者も地域の過疎化を心配しての作句だと思われます。陰曆の十月は神無月とも呼ばれ、日本全国の八百萬の神様が出雲大社へ参集し、談合すると言われています。

集落がなくなり、神様も移転したとの話も聞きますが、そんなことにはならないようとにと祈るばかりです。

秋風も捲きて綿菓子売られおり

刈谷 志津

(評)神社、寺の祭りやいろいろなイベントで、人の集まるところでは、綿菓子を販売しているが、子どもたちには人気があり多く集まって順番を待つていて。大人にも郷愁があり、子どものときを思い出す。誰でも知つており、食べたことと思う。

機械に砂糖を入れると美しい色の綿が

出てくる。それを棒に巻き付けて次第に大きなかたまりにするのですが、その棒を回しながら、綿を巻くとき空気(秋風)と一緒に、巻き込まれる。この句の作者が、綿菓子の作られる状況を見て、秋風を巻き込むと作られたのには、さすがだと感心しました。風を巻き込むとは、なかなか言えないと思いました。

今月のこども川柳
ちきゅうから うみはどうして おちなの
川内小1年 ちだ みそら
(評)小学一年生のなぜなぜなぜ?がとても面白い、まち白い子どもの心が育つてくれるなどをパパもママも願っていることでしょう。

一人よりみんなと食べるゆうごん

川内小3年 西村ひまり

(評)核家族、共働き、塾通いと忙しい暮らしの中で、一人でごはんを食べることも珍しくなくなつたが、家族そろつて食べる夕ごはんはやっぱり楽しく嬉しいもの。素直な子ども心が句に溢れ出されている。

ほのぼのとひと日過ごす帰り花竹崎たかひろ
八十路秋使い馴れたる湯呑みかな 大川 節弥
初めての三年日記買いまどり 田薦恵美子
有名な景色でなくも峡の月 片岡 包女

冬立つやのつべきならぬ話聞く 植田 紀子

二胡の音に吸い込まれそう十三夜 井上 郁子

入日して残る明かるさ石蕗の花 友草 水月

戦国のヒーロー武者姿翁人形 森岡 照月

欲得もなくなりし吾も冬支度 津田 久美

大根煮てアルファベットも忘れけり 川村 博子

狭き畑彼岸花燃え農婦行つ 筒井 正子

眼鏡拭く度に秋色深まりぬ 間 浩太

一年生 ピカピカひかる ランドセル

川内小5年 野口 朱莉

あきまつり なにを食べよう 楽しみだ

クリスマス 気がはやいけど ワクワクだ

川内小5年 小松かのん

あきまつり なにを食べよう 楽しみだ

川内小3年 手塚 琉斗

6ねんせい いじょにいもほり ありがとう

川内小1年 ちだ みそら

えがおでね あいさつしたら きもちい

川内小5年 大久保 朋美

冬だから おなべがいよ ほづくほづく

川内小1年 岡村 りん

いものつる 大きく太く 育つてる

川内小5年 野口 朱莉

| | | | |
|------|------|--------|----|
| 次 | 題 | 「当季雑詠」 | 五句 |
| 締め切り | 毎月五日 | | |

投句先
社会教育課

いの町3597
■ 893-2012

※「こども川柳」は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。次回提出締め切りは1月20日(金)です。今回川内小学校のみの応募でしたが、他校の応募もお待ちしております。(応募は各小学校を通じてお願いします。)お願いしています。